



令和2年 12月議会における活動報告

新型コロナウイルス感染症の拡大が連日報じられ、年末年始の気温の低下や大気乾燥により、さらなるウイルス性感染症の拡大が懸念されておりました。

そこで、12月21日(月)に公明党浦安市議団は、市民の安全・安心を守るため、**地域救急医療と市内経済への配慮**を内田市長に緊急要望致しました。

市民の皆様には、感染拡大防止へのご協力に感謝いたします。どうぞ日々の生活を健やかに過ごされますよう心よりお祈り申し上げます。



浦安市役所にて緊急要望書を提出

■小中学校児童生徒用タブレットの購入

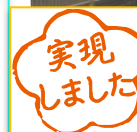


10.1インチタッチパネルのタブレット、フルサイズキーボード、タッチペンが入札で決定しました。授業や休校時の活用に向け、導入作業が進みます！



国道357号線舞浜大橋下り車線の安全対策

舞浜立体化とともに3車線へ増加し、危険な車線変更が多発していた国道357号線舞浜大橋下り車線の安全対策について、**9月議会で要望していたもの**が早期に実施されました。急な車線変更が減り、事故減少につながっていくことを期待します。

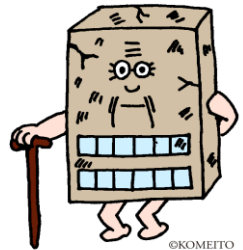


国道357号線 舞浜大橋下り線にそれぞれ3箇所敷設して頂きました

【公共施設維持の負担を軽く、安全で、持続可能なまちへ！】

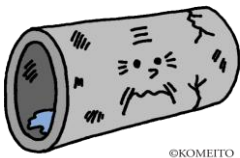
■ 1. 将来負担を残さず公共施設を維持するには？

コロナ禍の影響で市税収入が大幅に減少し、浦安市議会として「新年度に向けた市政運営に関する提言書」を11月に提出。そこで、財政負担への心配から公共施設等の維持更新時には、どのように行うか考え方を質問したところ、①30年用途を変えずに使い続ける施設は大規模改修を行い②今後5年から10年の間に用途変更するときは、安全性確保や老朽化抑制など、最低限の改修を行うのみという考えが示されました。これにより、不必要な大規模改修を抑え、安全で老朽化を遅らせるための改修の行い方が明らかとなりました。



■ 2. 公共施設を維持するにはどれくらいかかる？

平成28年策定の浦安市公共施設等総合管理計画には、公共施設の老朽化対策と長寿命化に今後40年で2760億円の公共施設の改修・建替えにかかり、年平均にならずと約69億円かかるという試算がありました。再検討した新たな改修の考え方で積算した場合、どのくらいのコスト抑制の効果が出せるのか質問したところ、令和3年改訂の浦安市公共施設等総合管理計画で検証することによって、この取り組みで明らかとなります。



【植栽維持管理の効率化で持続可能な取り組みを！】

■ 3. まちの緑を効率よく保つため、新たな維持管理方法を！

コロナ禍の今、緑の維持管理を合理化・効率化し、植栽の仕上がりやコスト平準化のガイドラインを策定してコストダウンを図ることを提案したところ、事業者の植栽せん定の仕上がりが一定になるよう、仕様書の見直しについて検討するとの前向きな考えが示されました。見直しにおける今後の業務改善とコストダウン効果に期待したいと思います。



公明党 いちせ 検索

皆様からの声をお聞かせ下さい！ 浦安市議会議員 一瀬健二

浦安市東野在住
連絡先 080-9804-9734
Email: kichise4649@gmail.com
発行: いちせ健二 後援会



市民相談はお気軽にお電話・メールで！

議会報告の詳細はホームページで →



ホームページ